

## 第1回東京大学生発明コンテスト

東京大学生産技術研究所では、「第1回東京大学生発明コンテスト」を開催し、表彰式が3月27日、生産技術研究所において行われた。表彰式では、小宮山宏東京大学副学長による挨拶の後、西尾茂文生産技術研究所長により受賞者に対して各賞に対する表彰状、楯、副賞が贈呈された。最優秀賞は、放射線検出装置を発明した大学院工学系研究科システム量子工学専攻・博士2年の澁谷憲悟君に授与された。

このコンテストは、学生が発明や知的財産権に対する理解を深めることを目的に、生産技術研究所・産学連携委員会(委員長・畑中研一教授)と財団法人生産技術研究奨励会(TLO)の共催で企画されたもので、東京大学の学生を対象に昨年11月4日から12月1日まで応募を受け付けた。新規の企画であったため応募件数の多寡が予想できなかったが、最終的には全学から20件もの応募があった。応募案件は、先行技術の調査結果や新規性を考慮して書類審査を行い10件を本審査の対象とした。本審査は3月13日に行われ、発明者の学生によるプレゼンテーションに対する質疑応答の後、発明の新規性・新鮮さ・着想や工業所有権としての価値、技術レベル、発明としての完成度などを基準に選考が行われた。今回の発明コンテストは、「発明」や「特許」という取り扱いに配慮が必要なものを対象にしているため、コンテストの運営は困難が多かったが、企画の段階から、産学連携委員の教官と事務方、さらには生産技術研究奨励会の室員が一致団結した体制で準備・運営を行った。

